



私たちは介護保険制度の改悪中止を求めます。

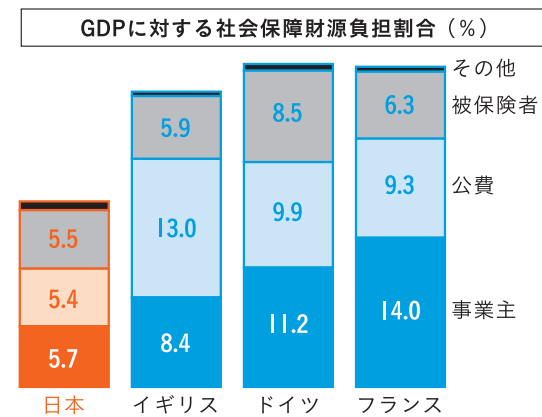
介護保険の改悪をやめると **STOP!改悪**

- ① 要支援者のサービスは市町村の事業に移さず、内容を充実させること
- ② 利用料の引き上げを実施しないこと
- ③ 施設入所の対象から軽度者はずさないこと、低所得者が安心して入所できるよう費用負担の軽減制度を強化すること
- ④ 介護報酬の大幅な引き上げをはじめ、実効ある処遇改善策を講じること
- ⑤ 以上を実現するために、介護保険財政への国庫負担を大幅に増やすこと

その実現のために

介護保険財源に対する国の負担割合を5割に引き上げる

利用できない介護保険、その背景には、国が社会保障に十分なお金をかけていないという問題があります。国際的にも社会保障に対する公費や事業者負担が少ないことが分かっています。



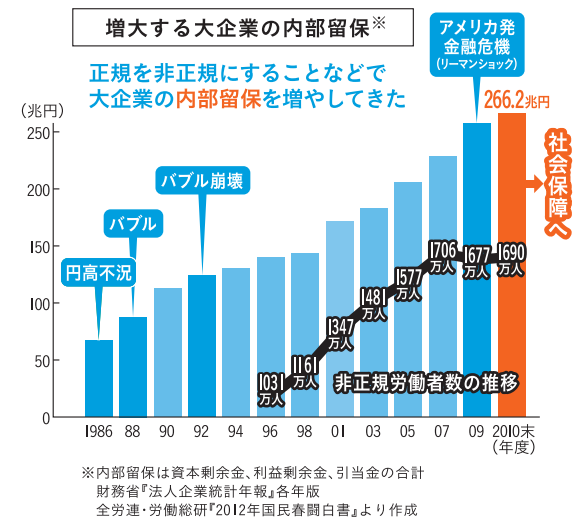
生活を破壊する消費税増税を中止する

高齢化で増える社会保障財源を消費税に求めれば、更なる増税が必要となります。増税が無理なら社会保障の改悪へと直結しかねません。



大企業・高所得者に応分の負担を求める

内部留保を増やし続ける大企業に対する優遇税制をあらため、応分の負担を求めるべきです。



社会保障・税一体改革の撤回と、社会保障制度改革推進法の廃止を!

「介護保険制度の改悪中止を求める署名」にご協力をお願いいたします。

みんなれん「民医連」とは?

いのちの平等をかけて60年——差額ベッド代を徴取しない、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。医療・介護・福祉でお困りのことは、お近くの民医連事業所へ。

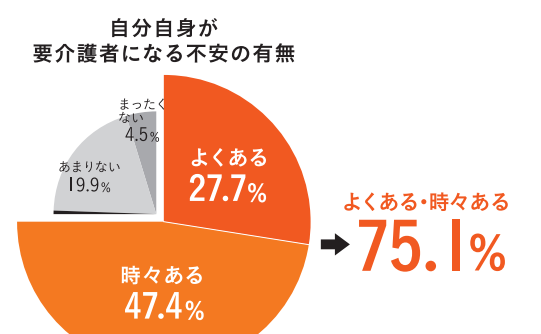
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F
TEL03-5842-6451 FAX03-5842-6460
URL <http://www.min-iren.gr.jp>



介護は、いつから“不安”と隣りあわせになったのだろう。

必要な時に必要なだけ、安心の介護を。

いま、介護保険は、利用者の負担増、軽度者の切り捨てなどが検討され、利用者、事業者をはじめ介護現場で働く人たちにさまざまな影響を及ぼしています。介護という誰もが避けて通れない道をふさごうとする国。この国の不安定な土台の上で人は懸命に支え合っています。私たちは、利用者と家族が抱える困難を早急に改善し、介護に働くすべての職員が生き生きと働けるよう、介護保険制度の改善を要求していきます。



※内閣府 平成22年度 介護保険制度に関する世論調査より

全日本民医連
(全日本民主医療機関連合会)

民医連新聞
民医連新聞発行所 全日本民主医療機関連合会 発行人 藤原文雄
2013年9月13日発行(1966年9月13日第三種郵便物認可)